

# 天昇電気の2019年3月期連結決算 売上高は13.3%の2桁増

## 新型車の先行経費で利益減少

天昇電気工業(本社・東京都町田市南町田、石川忠彦社長)は、このほど2019年3月期連結(2018年4月1日~2019年3月31日)決算をまとめた。それによると、売上高は前期比13.3%増の176億2,100万円となったが、営業利益は新型自動車量の生産開始準備に伴う先行経費の計上等により同24.8%減の9億4,800万円となった。経常利益は同15.9%減の9億7,600万円、当期純利益は同27.3%減の5億8,900万円となった。

同連結会計年度における 図るとともに、生産工程のわが国経済は、企業収益や省力化、省人化等の生産性雇用情勢の改善が続き、個人消費や企業の設備投資に

持ち直しの動きが見られるなど景気は穏やかな回復基調で推移した。一方、米中貿易摩擦は長期化しており、中国経済の減速による日本経済への影響等もあらわれ始め、景気の先行きは不透明な状況が続いている。

このような状況の下、天昇電気グループは引き続き売上拡大に向け営業強化を

当金1,700万円、営業外費用に支払利息3,700万円を計上したこと等により、経常利益は9億7,600万円(同15.9%減)となった。

最終損益については、特別利益に国庫補助金8,500万円、特別損失に固定資産圧縮損7,900万円、子会社株式の段階取得による差損5,800万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益は5億8,900万円(同27.3%減)となった。

### 営業利益5.5%増の予測

#### 次期の見通し

今後の経済環境は、国内では、企業収益や個人消費は穏やかな回復基調にあるものの、米中貿易摩擦の影響や日米貿易交渉等の動向等により先行き不透明な状況にある。

天昇電気グループは、引き続き自動車部品分野、物流業資材分野、機構品分野の売上拡大に注力していく。損益面では、生産現場

### 中国成形関連事業の利益は前期に続きプラス

セグメントごとの状況は、型自動車の生産開始に伴い、自動車関連部品の売上が好調に推移した。自社商品群の雨水貯留浸透槽製品の売上は堅調に推移した。この結果、売上高は15.6億6,200万円(前期比5.4%増)となった。セグメント利益は自動車関連部品の売上は好調であったも、回復基調に推移し3億8,000万円(前期比15.5%増)となった。

【中国成形関連事業】物流業資材及び機構品部品を中心とした売上拡大に向け注力した結果、売上高は回復基調に推移し3億8,000万円(前期比15.5%増)となった。

【中国成形関連事業】物流業資材及び機構品部品を中心とした売上拡大に向け注力した結果、売上高は回復基調に推移し3億8,000万円(前期比15.5%増)となった。



プラスチックの特徴を生かしきる  
そこに最高品質の  
情熱が生かされる

当社製品「デンレイン・スクラム」  
キャラクター「もくれイン君」

プラスチック業界のパイオニア  
**TENSHO**

天昇電気工業株式会社 〒194-0005 東京都町田市南町田五丁目3番65号 天幸ビル17  
TEL: 042-788-1555 FAX: 042-796-6333  
国内工場: 福島工場・矢吹工場・群馬工場・埼玉工場・三重工場 / 海外拠点: 中国・アメリカ・メキシコ・ポーランド  
<https://www.tensho-plastic.co.jp/> 天昇